

小田山霊園内慰霊碑の碑文及び由来文の書きかえについて

【「慰霊碑」の記述内容】

「1945年、第二次世界大戦の終結のときに、強制連行などにより日本に在住していた朝鮮人が、祖国をめざして帰郷を急ぐ途中若松沖で遭難されました。その遺体がこの地に眠っています。慰霊の意を込めて、この碑を建立するものです。」

1990年12月建立 北九州市

【「碑の由来の説明板」の記述内容】

「日本は1910（明治43）年に「韓国併合に関する条約」を発効させ、朝鮮半島を植民地にしました。この政策により、土地や生活基盤を奪われ、日本に移住を余儀なくされた朝鮮の人たちがいました。また、太平洋戦争が進む中で、日本へ強制的に連れて来られ、工場や炭坑などで過酷な労働を強いられた人も少なくありません。1945（昭和20）年8月15日、戦争の終結により、日本にいた多くの朝鮮の人たちが故国を目指しました。その途中、若松沖で9月17日、枕崎台風に襲われ遭難された方々がこの地に葬られています。この碑は、この遭難者の霊の安らかなことと、平和友好を祈念する意を込めて、建立されたものです。」

1995年8月 北九州市